

# 学 校 だ よ り

平成 2 1 年 1 0 月 号 1

6 年「全国学力・学習状況調査」(平成 2 1 年 4 月 2 1 日実施)の結果と結果に基づく指導方法の改善についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査 正答率 ( % )

	国 語 A	国 語 B	算 数 A	算 数 B
草 津 小	7 1 . 9	5 2 . 1	8 1 . 4	5 9 . 0
広 島 市	7 1 . 9	5 3 . 2	8 0 . 7	5 7 . 1
広 島 県	7 2 . 9	5 3 . 8	8 1 . 3	5 6 . 6

A : 主として知識の問題

B : 主として活用・応用の問題

国語では、「自分の考えを整理して書く」「段落相互の関係を考え、文章を正しく読む」に課題がありました。そこで、

自分の考えを論理的に表現する力を育てるため、結論と理由を明確にして書く。

文章全体の構成を考えながら、文や語句の文脈上の意味を捉えるようにする。

語彙数を増やし読解力を高めていくために読書量を増やす。

といったことに重点的に取り組んでいこうと考えています。

算数では、「計算の順序を考えて、式を立てたり計算したりする力」「文章から情報を読みとったり、きまりを見つめたりする力」に課題がありました。そこで、

帯タイムなどを利用して、基礎的な計算を正確に速く処理する練習をする。

いろいろな情報からきまりを見つけていく問題に取り組み、思考力・判断力を高める。

といったことに継続的に取り組んでいこうと考えています。

